

目 次

■提言の要旨	1
第一章 現状	2
第二章 研究課題	3
1 滞納債権を発生させないための予防的措置	
2 複数の債務を抱える者への対応	
3 強制徴収できない債権への対応	
4 業務の標準化及び更なる効率化を図るための方策	
5 悪質滞納者に対する対抗措置	
第三章 施策の提言	6
提言1 期限内納付促進の取組－特別徴収の推進など－	
提言2 債権担当部署の一元化－債権管理課の設置－	
提言3 債権の管理に関する条例の制定	
提言4 業務マニュアルの作成及びインターネット公売の実施	
提言5 悪質滞納者に対するペナルティ措置	

提言の要旨

滞納債権を整理し、徴収率向上に取り組む

現 状 — 縮減できない多額の滞納債権

- 滞納債権回収事務の大きな負担
- 複数の債権に係る滞納者の存在
- 債権の種類ごとに異なる回収手段
- 滞納債権回収業務の複雑性
- 悪質滞納者(経済力があるにもかかわらず納付しない者)の存在

研究課題

- 1 滞納債権を発生させないための予防的措置
- 2 複数の債務を抱える者への対応
- 3 強制徴収できない債権への対応
- 4 業務の標準化及び更なる効率化を図るための方策
- 5 悪質滞納者に対する対抗措置

提 言

提言1
期限内納付促進の取組
— 特別徴収の推進など—

滞納させない

提言2
債権担当部署の一元化
— 債権管理課の設置—

滞納者への対応を統一

提言3
債権の管理に関する条例の制定

債権を適正に管理

提言4
業務マニュアルの作成及びインターネット公売の実施

徴収業務の標準化と更なる効率化

提言5
悪質滞納者に対するペナルティ措置

悪質滞納の撲滅

総合力で徴収率向上